

社会福祉法人

秀幸福社会

2025・No.302

4月



特別養護老人ホーム庄栄エルダーセンター

〒567-0806 大阪府茨木市庄2丁目7-38

TEL 072-631-5151 FAX 072-631-5141

高槻エルダーセンター

〒569-0811 大阪府高槻市東五百住町2丁目4-32

TEL 072-690-5151 FAX 072-690-5141

地域密着型デイサービスセンター 未来

〒567-0823 大阪府茨木市寺田町8-20

ピアハイツ幸1階

TEL 072-635-8484 FAX 072-635-8451

三島・庄栄地域包括支援センター

〒567-0023 大阪府茨木市西河原2丁目17-4

TEL 072-631-5566 FAX 072-631-5555

太田・西河原地域包括支援センター

〒567-0018 大阪府茨木市太田1丁目17-20

TEL 072-631-5200 FAX 072-631-5222

東・白川地域包括支援センター

〒567-0806 大阪府茨木市鮎川1丁目6-4

TEL 072-636-8686 FAX 072-636-8687

いきいきネット相談支援センターエルダー

〒567-0806 大阪府茨木市庄2丁目7-38

CSW 専用携帯 080-8946-3999

FAX 072-631-5141

茨木市福井多世代交流センター

〒567-0062 大阪府茨木市東福井2丁目23-22

TEL 072-643-1300 FAX 072-643-1300

**大阪府指定住宅確保要配慮者居住支援法人
社会福祉法人 秀幸福社会**

〒567-0806 大阪府茨木市庄2丁目7-38

TEL 072-631-5151 FAX 072-631-5141

相談支援センターひまわり(茨木市指定・委託事業所)

〒567-0806 大阪府茨木市庄2丁目7-38

TEL 072-626-3310 FAX 072-626-3340

放課後等デイサービス ひまわり

〒567-0806 大阪府茨木市庄1丁目13-27

TEL 072-623-5511 FAX 072-623-5550

放課後等デイサービス フォルテひまわり

〒567-0806 大阪府茨木市庄1丁目7-27

ピアフォルテ102・103

TEL 072-622-6081 FAX 072-622-6082

認定こども園 ちとせ学院 (本園)

〒567-0806 大阪府茨木市庄2丁目7-35

TEL 072-626-2191 FAX 072-626-2192

認定こども園 ちとせ学院 Ramo (分園)

〒567-0806 大阪府茨木市庄2丁目8-13

TEL 072-626-2191 FAX 072-626-2192

認定こども園 ちとせ学院 めぐみの森

〒567-0814 大阪府茨木市戸伏町13-35

TEL 072-626-1606 FAX 072-626-3164

認定こども園 ちとせ学院 Due 南茨木

〒567-0868 大阪府茨木市沢良直西1丁目10-31

TEL 072-638-9191 FAX 072-638-9192

保育所 ちとせ学院 Tre 保育園

〒567-0855 大阪府茨木市新和町21-21

TEL 072-635-1200 FAX 072-635-1201

東・白川地域包括支援センターです。 はじめよう 人生会議！

命の危険が迫った状態になると、約70%の人が医療やケアなどを自分で決めたり、望みを人に伝えたりすることができなくなると言われています。

「そのとき」に備えて、前もって受ける医療・ケアに対する希望を家族や医師に伝えておくことが重要です。

- ◆家族やかかりつけ医と話してみましょう
- ◆家族が分かるところに書き留めておきましょう

もし病気になったら・・・

- どんな治療・ケアを受けたいか
- どんな所で療養したいか

《地域の交流の場紹介》 🌻 ぶらっとホーム ル・リアン 🌻

「ひまわりののれんをくぐれば笑顔になれる」

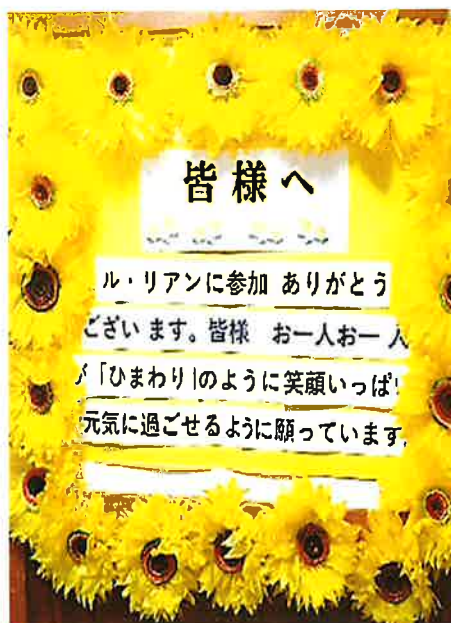
子供から高齢者まで集える地域の居場所として活動しています。

予定変更もありますので、気軽にお問合せください。



◆場所：新堂1丁目 7-14

◆お問合せ：白川地区福祉委員会・松本
(090-9094-3229)



偶数月第4水曜 13:30から包括支援センター
職員も参加しています。

ご相談などお気軽にお声掛けください♡



「2りんかん茨木」向かい側
「ひまわり」ののれんが目印！

庄栄エルダーホームヘルプステーション

令和7年



いつもご利用ありがとうございます。
ようやく春風の心地よい季節になってきました。
今年の冬は寒暖差が激しく、感染症や体調不良に
悩まされた方も多くおられたように感じます。
そんな冬を乗り越えた皆様に小さな幸せが沢山訪れますよう🌸
ヘルプステーション一同、皆様に健やかな日々をお過ごしいただきたく、
精一杯サポートさせていただきます。



2月のヘルパー勉強会では“やさしさを伝える”
認知症ケア技法 ユマニチュードについて学びま
した。フランスから生まれた介護技術で、お互い
に寄り添いながら、その人が人間らしく生きる為
の「優しさ」を伝える4つの柱「見る・話す・触
れる・立つ」をもとに考えられたそうです。実際
にそのケアを受けた寝たきりの認知症男性の動画

では、表情や反応が驚くほど穏やか
になり、自力で立ち上がり歩く姿に
ヘルパーさん皆大感動で、介護のや
りがいを再確認できた勉強会でした
～🌸

今後ともどうぞよろしくお願いいた
します。

サービス提供責任者

杉浦・園山・高木・松尾・小林・宮崎

【ユマニチュード4つの柱】





短期集中栄養サポートプログラム

無料

「フレイル予防にはまず栄養！」

庄栄エルダーセンターは短期集中栄養サポートプログラム実施事業所です。
このプログラムでは、フレイルなどの低栄養の方や慢性疾患などにより栄養改善が必要な方に、管理栄養士がご自宅に訪問し、アドバイスをを行います。

対 象

要支援 1・2 または事業対象者と決定された方で、低栄養(※)に該当する方および
栄養改善が必要な方

(※)BMI(体格指数)18.5 未満または、BMI20 未満かつここ6ヶ月で 2 kg以上の
体重減少がある。

利 用 方 法

ケアプランに基づいて利用する事業です。

地域包括支援センターやケアマネジャーにご相談ください。

利 用 料

無料

利 用 期 間

およそ 3～6 ヶ月の期間で全3回

時 間

1回あたり 30～60 分

一人ひとりのペースに合わせた
サポートで元気で長生きのお手伝い
をします。



新年度(令和7年度)には、こんなことがあります！！

いよいよ、令和7年度がスタートしました。主な事柄を紹介します。

◆介護保険制度
施行 25 年

EXPO2025

◆「2025 大阪・関西万博」
(4/13~10/13)

◆参議院議員選挙
(7/28 投票予定)

◆世界陸上競技選手権大会
(東京・国立競技場)
開催予定(9/13~9/21) ★★

◆広島・長崎に原爆投下
日本の太平洋戦争敗戦
から 80 年

投票箱

◆「千里阪急ホテル
(豊中市・1970 年築)」
2025 年末営業終了
解体予定

◆ふるさと納税

ポイント付与廃止(10/1)

POINT...

他、あらゆる物の値上げや社会情勢の不安定さ
など、まだまだ気の休まらない日々が続きます
が、「笑顔」で「健康」な毎日を過ごしましょう！！

「人と防災未来センター」

見学予定！

4月15日(火)に茨木市高齢者サービス事業所連絡会に加盟している事業所の防災担当者で神戸市にある「人と防災未来センター」の見学を予定しています。

阪神淡路大震災から30年となる今年。見学することで当時のことを思い出し、今後起こり得る震災などの自然災害に迅速かつ適切な対策が講じられることを目的としています。

「ひだまり5月号」にて、改めて報告させていただきます。

●法人理念●

社会福祉法人 秀幸福祉会は多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が尊厳を保持しつつ心身ともに健やかに育成され、又その有する能力に応じた自立した日常生活を地域社会において営む事が出来るよう支援することを目的としています。

●運営目標●

- I 心が美しい人間になろう。
- II ひとり一人がみんなの命のぬくもりを大切にしよう。
- III やる気、本気で精一杯力を出し合おう。

●施設運営方針●

I 施設の使命

老人福祉施設庄栄エルダーセンターは、地域社会の支持を受け、開かれた施設として高齢者が地域社会の中で安心して生活を送ることができる、拠点施設となる事を使命とします。

II 利用者の生活の質の向上

老人福祉施設は尊厳を持って、利用者の個別ニーズに対応した自己決定を基盤とする自立支援をすると共に、優しさあふれた明るい施設作りを目指します。

III 職員の質の向上と専門性の向上

老人福祉施設の職員は常に質の高いサービスができるよう外部、内部研修に力を入れ円滑な人間関係の下『知識』『知恵』のあるケースを提供することを目的とします。

IV 地域福祉の向上

庄栄エルダーセンターは交通の利便性、人口密集地区にある施設として、施設、家族、地域の『きずな』を重視し、福祉サービスの発信基地、ボランティア活動の拠点となり、保健、医療機関との連携を密にして、地域の福祉の向上に努めます。